

『エレジーは流れない』 三浦 しをん／著 双葉社
913.6ミ

男子高校生らしいの怜は、個性豊かな幼なじみたちと共に高校生活を送っています。ふざけたり、冗談を言ったりはゲラゲラ笑い合う、とにかく楽しそうな彼らですが、それぞれ事情や悩みがあり…。楽しい日ばかりではなく落ち込んだりもやもやしたりする日もありますよね。同世代のみなさんにぜひ読んでほしい1冊です。



『ななつのこ』 加納 朋子／著 東京創元社
913.6カ

大好きな本の作者にファンレターを送った大学生の駒子。身近で起きた不思議な事件のことも書いてしまったその手紙に、思いもよらず返信が届きます。それは、謎と一緒に駒子の心もときほぐすものでした。あなたがこの本を読み終わるころには、大人になるのも「そんなに悪くない」と思えるかもしれません。



『半径3メートルの倫理』 オギリマ サホ／著
産業編集センター 150.4オ

大人の仲間入りをされたみなさんはこれからたくさんの人と関わっていくと思います。人と付き合ううえで衝突することもあるかもしれません。この本では身の回りに起きるモヤモヤを哲学者の言葉を用いて解決してくれます。読んだら心が軽くなりますよ。



『おじいちゃんとパン』 たな／絵・文
パイ・インターナショナル E

おじいちゃんはいつも「しかたねえな」と言いながら、ちびすけに甘いトーストを食べさせてくれます。2人の楽しい時間です。ちびすけが大きくなるにつれ、おじいちゃんは年老いていきますが、これからも楽しい時間は変わらず続いていきそうです。心がほっと温くなる絵本です。



『ノモレ』 国分 拓ひろむ／著 新潮社 382.6コ

人の開拓によって分断された先住民の末裔かもしれないという、今なお存在しているかもしれない先住民たち取材したノンフィクションです。世界は自分の知っていることがすべてではないということを思い知らされる1冊です。



『夢にめざめる世界』 ロブ・ゴンサルヴェス／作
金原 瑞人／訳 ほるぷ出版 E

「想像してごらん…。…」から始まる絵本のページをめくると、素敵な文章と絵の世界が広がります。見方を少し変えるだけで、落ち葉が蝶になったり、木の枝が川になったり。日常が不思議な世界へといざなわれていくような、そんな1冊です。



『こだまでしょうか、いいえ、誰でも。』 金子 みずぐ／著
ミヤオビパブリッシング 911.5カ

いつの日か聞いたことのある懐かしいあんな詩も、生まれて初めて出会った新鮮なこんな詩も、どこかあたたかい気持ちにさせてくれる。詩の中の、身近なモチーフや自然のやさしさに心を寄せて、お気に入りの詩を見つけてみてはいかがでしょう。



*ティーンズコーナーにあります。

祝 成人

成人を迎えられたみなさんに
ぜひ読んでいただきたい本を紹介します。

成人おめでとうございます

『チルドレン』 伊坂 幸太郎／著 講談社 913.6イ

銀行強盗事件に巻き込まれたことがきっかけで鴨居や陣内と知り合った主人公、永瀬。彼らを取り巻く日常のなかに潜む、奇跡のような事件に、どきどきが止まりません。自分はどんなに大人になるんだろう…。なんて考えているそのあなた！ おすすめの登場人物がいますよ。あんなに自由な大人になれたら…。あこがれます。



『ブッタとシツカブッタ 1』 小泉 吉宏／著
KADOKAWA 159コ

これから生きていく中で、落ち込んでしまう日もあると思います。そんなときは、悩めるブタ、シツカブッタを眺めてみませんか。ゆるっとした姿に笑っているうちに、きっと心が軽くなります。3巻まであります。



『春になったら莓を摘みに』 梨木 香歩／著
新潮社 914.6ナ

皆さんはこれから社会に出て、様々なバックグラウンドや価値観をもつ人たちに会うことでしょう。時には意見のすれ違いや衝突もあるかもしれませんね。そんな時には「理解はできないが受けられる」という姿勢を大切にしてみませんか。著者がイギリスの下宿先で過ごした日々を綴ったエッセイです。



『自分の心に気づく言葉』 加藤 諦三／著
PHPエディターズ・グループ 159カ

他人に気がつかずすぎたり、生きづらいつ感じることはありませんか？ それはあなたの無意識にある隠された敵意（怒り・孤独・不安・依存心など）が原因だと著者は語っています。自分はどうしたいのか。本当の気持ちに気づき、後悔しない人生を送るための名言集です。



『もうぬげない』 ヨシタケ シンスケ／著
ブロンズ新社 E

「ぼくのふくが ひっかかって ぬげなくなって、もう どのくらいだったのかしら。」誰しも、「もうだめだ」と思った経験があるでしょう。この男の子も、自身にとっては一大事、まさに「詰み」の状態です。でも、意外と何とかなるかも？ まさかの発想に、お約束のラスト。楽しく読めて、気持ちが軽くなる絵本です。



『やらかした時にどうするか』 畑村 洋太郎／著
筑摩書房 141.5ハ

何もかも完璧で、失敗しない人というのはいません。大切なのは失敗したときにどう対処するか、どうやって乗り越えて次につなげていくかということです。「やらかした時にどうするか」その判断によって大きく結果も変わるはず。失敗しても対処法を知って、何事も恐れず挑戦してみてください。

